

RS232C/Wi-Fi コンバータ

DL-WF232P

ユーザズマニュアル

WP-01-210931



※前後形状確認の為 2台並べて撮影しています。

第1版 2021年9月



データリンク株式会社

はじめに

RS232C機器とWIFIのインターフェイスです。

DL-WF232Pは、電源供給として「USB ACアダプタ」を使用したものです。

2台を対で使用することにより、RS232C機器間の通信も可能です。

簡単な命令で通信パラメータの設定が可能です。

1、梱包内容

DL-WF232P本体	1台	
RS232C ケーブル	1本	(1m 両端メス・メスのインチネジのクロスケーブル)
製品仕様書 (本書)	1部	
電源ケーブル	1本	(片側USB-A、片側miniB ケーブル長1m)

ACアダプタは添付されていません。

2、概要

DL-WF232P (以下本機) は、RS232C機器を無線APに接続するためのインターフェイスです。

3、特徴

- ・ 2.4GHzのWIFIチップを使用しています。
- ・ 技術基準適合品です。
- ・ WIFI上では、TCP/IPまたはUDPによる通信を行っています。
- ・ OSに依存しません
- ・ アンテナを内蔵しています。
- ・ 通信距離はおおむね50m程度です

4、仕様

- ・ 物理的仕様
 - 環境温度 0～50℃
 - 環境湿度 結露なきこと
 - 形状 横：33mm 高さ：16mm 奥行き：57mm
 - 重量 25g
 - 電源 USB ACアダプタで供給 (ユーザ手配)
 - 消費電力 0.1A以下/5V (注1)

注1) 本機に使用しているWIFIチップには、瞬間的に0.35Aの電流が流れることがあります。

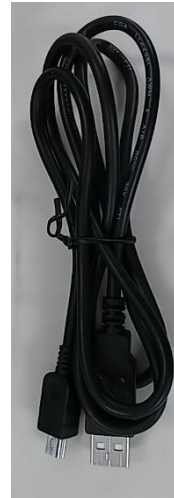
- ・ インターフェイス
 - RS232C DSUB9ピン (メス)
 - WIFI 2.4GHz
- ・ 通信仕様
 - RS232C・WIFI受信バッファとも1Kバイトのメモリをもっています。一方が受信したデータはバッファを通して他方のインターフェイスへ出力されます。
 - 本機は、UDP設定時、フロー制御を行っていません。

RS232C (オス 9P)



USB 5V電源

本体外形図



付属品 (USB ケーブル)



参考 USB ACアダプタ (5V)

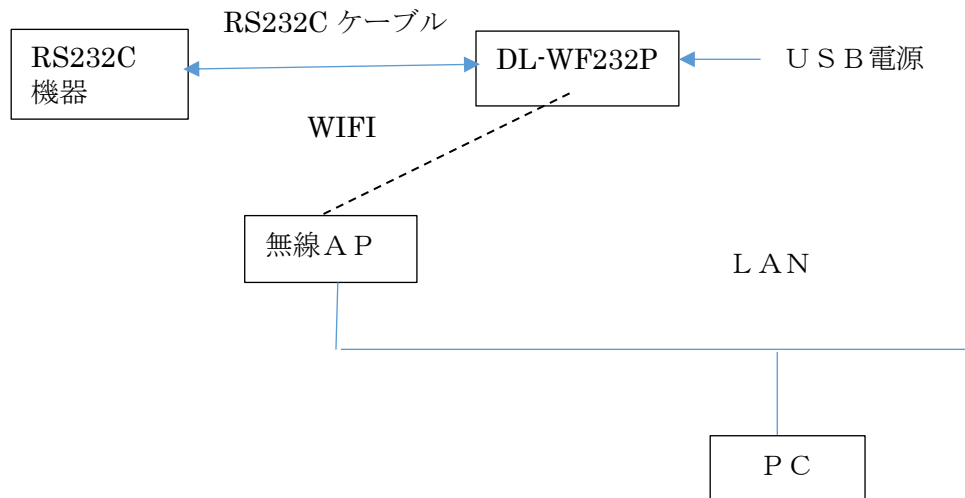
※ユーザー様自身でご用意下さい。

USB ACアダプタ 推奨品 (PSE対応品)

- ・ 出力電圧：4.75～5.25V
- ・ 出力電流：3A
- ・ 出力電力：15W
- ・ 最小負荷電流：0A
- ・ 入力端子：差込プラグ
- ・ 出力端子：USB-mini B オス
- ・ 定格入力電圧：100～240VAC

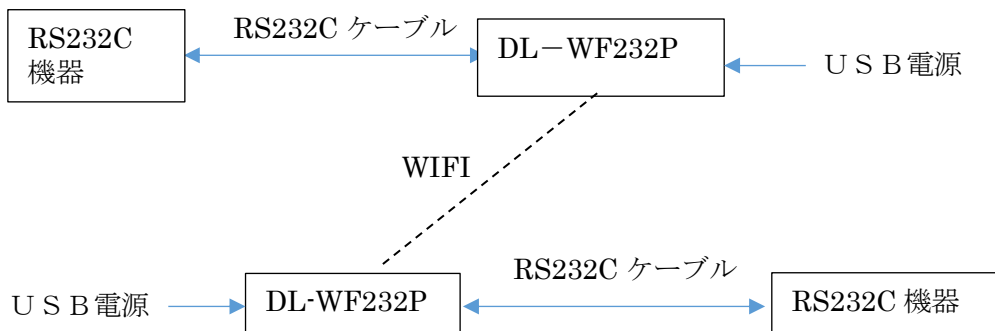
5、使用環境

- ・無線A P と通信



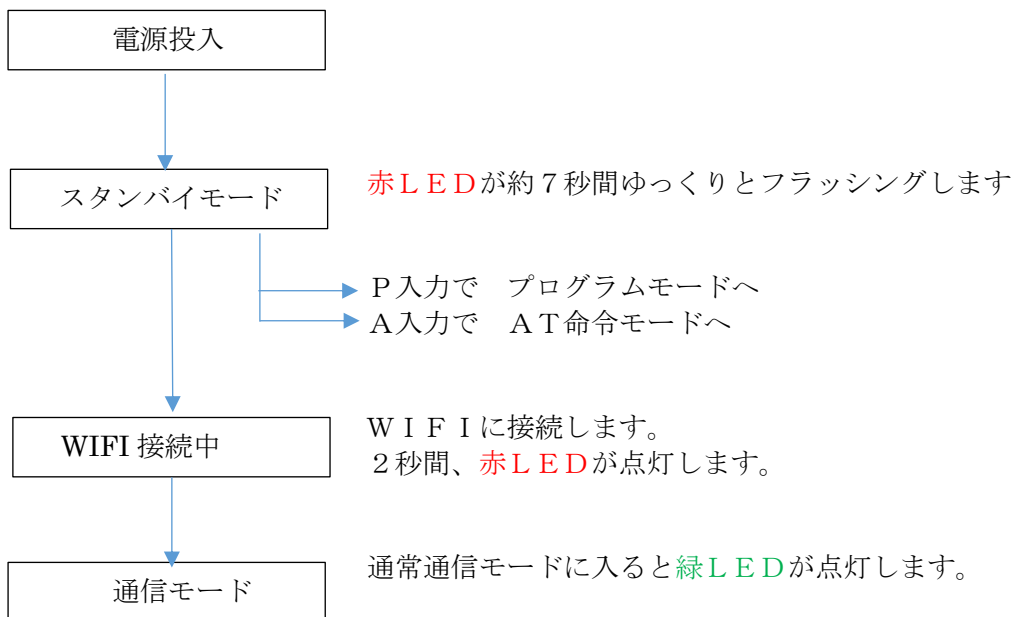
- ・RS 2 3 2 C 機器同士の通信

この場合、DL-WF232Pを2台使用し、一方をA P、他の一方をS T A T I O N に設定します。



6、電源投入時の状態遷移

6-1) 設定された通信パラメータで通信モードに入る場合



6-2) 通信パラメータを変更する場合

- ・PCと本機を付属のRS232Cケーブルで接続する
- ・PC上でRS232C端末ソフト (TERMIN) を立ち上げる。
このソフトは、弊社HPよりダウンロード可能です。
- ・TERMINの通信条件を、115.2KBPS/パリティなし/8ビットに設定する。プログラムモードでは必ずこの値に設定する必要があります。
- ・DL-WF232Pの電源を入れる。
スタンバイモード (赤LEDがフラッシングしている間) 中に、PCから「大文字のPキー」を入力する。
この結果、DL-WF232はプログラムモードに入りパラメータの変更が可能になり、次頁の表示になります。

Pの代わりにAを入力するとAT命令モードに入ります。
すなわちPCからAT命令を入れるとそのままWIFIチップに出力されます。
この命令は用意されていますが、一般的な通信には使用しません。

出荷時の設定値を示します。

```
*****
* DL-WF232P VER1.0A PROGRAM MODE 2021/09/15 *
*****

MAC (00:C0:84:01:A0:00) = 00:C0:84:01:A0:00

PASS (8-63) = DL-PASS-DLWF-E
SSID (8-63) = DL-SSID-DLWF-E
AP or STATION (A/S) = S
CHANNEL ID (1) = 1

LOCAL IP (192.168.000.200) = 192.168.000.221
REMOTE IP (192.168.000.100) = 192.168.000.220
GATE WAY (192.168.000.100) = 192.168.000.220
NET MASK (255.255.255.000) = 255.255.255.000

X (LOCAL PORT #(5) ) = 04097
Y (REMOTE PORT #(5) ) = 04098
BAUD RATE etc ( EX.=115200, 8, PN, 1) = 19200, 8, PN, 1

UDP or TCP PROTOCOL (U/T) = T
TCP SERVER (E/D) = E
DHCP (E/D) = D
KEEP CONNECT (E/D) = E
FIRM DOWN LOAD (E/D) = D

W (WRITE PARAMETERS to EEPROM )
ZA (AP : SET DEFAULT & WRITE PARAMETERS to EEPROM
ZS (STATION : SET DEFAULT & WRITE PARAMETERS to EEPROM
ESC (SEND SSID, PASS to WIFI CHIP then ESCAPE from PROGRAM MODE)
```

- 1) MACアドレスは出荷時に設定されており、変更できません。
- 2) AP or STATION=S (station) に設定されています。
- 3) CHANNEL ID は、WIFI のチャンネルで、1～9 の値です。
- 4) IP, GATEWAY, NETMASK を設定します。
X で自分の PORT アドレスを、Y で相手の PORT アドレスを指定します。
AP 側で、X=4058、Y=4059 を指定した場合
STATION 側は、X=4059、Y=4058 を指定してください。
- 5) BAUD RATE は、接続する RS232C 機器の通信条件を指定します。
BPS は、9600, 19200, 38400, 115200 が有効です。
データ長は、7 か 8 です。
パリティは、PE、PO、PN です。
ストップビットは、1 か 2 です。
- 6) UDP or TCP/IP の通信方式を設定します。
- 7) TCP SERVER の E/D を設定します。
通信方式が TCP/IP であり、STATION を指定した場合、E となります。
AP を指定した場合、D となります。
UDP を指定した場合、この値は無視されます。

- 8) DHCPのE/Dを指定します。
9) KEEP CONNECT=Eとします。
定期的に接続パケットを送受信し、WIFIを接続状態に保ちます。

1 0) W命令でこの画面に設定された値が内部のEEROMに書きこまれます。
次回電源が投入された時、この値で動作します。

1 1) ESC (PCのキーの左上) で、EEROMの内容をWIFI CHIPに書き込みます。

PROGRAMモードを終了するとき必要です。

STATIONに設定された場合

```
STATION MODE is set !  
POWER OFF for RESTART
```

AP設定された場合

```
AP MODE is set !  
POWER OFF for RESTART
```

が表示されます。

ひとまず、電源を切ってください。

1 2) ZA命令とZS命令は対で使用されます。

機器はお互いに相手機器と通信するようにデフォルト値が設定されます。

PTOTOCOL=T (TCP) となります。

ZA命令は、本機=APとし、デフォルト値をEEROMに書き込みます。

この時、TCP SERVER=Dとなります

ZS命令は、本機=STATIONとし、デフォルト値をEEROMに書き込みます。

この時、TCP SERVER=Eとなります

通信方式は、TCP/IPが選択されます。

出荷時は、STATIONに設定されています。

1 3) 電源を投入して通信モードに入る手順

RS232C機器同士をつなぐ (ペアで使用する) 場合、

- AP側のDLWF232の電源を先に入れると

約10秒後にAPとしての動作を開始します。

すなわち、指定したチャンネルでビーコンを発信します。

この間、赤LEDがゆっくりフラッシングします。

STATIONからの電波を検出すると、AP側の緑LEDが点灯してコネクションが確立します。

- STATION側の電源を先に入れると

STATIONとして動作を開始します。

すなわち、赤LEDがゆっくりフラッシングし、無線AP (あるいはAPに設定されたDLWF232) が送信するビーコンを受信すると、コネクションをはります。

成功すると緑LEDが点灯し、双方向の通信が可能になります。

Z A命令でA Pを指定した時のパラメータ値

```
*****
* DL-WF232P VER1.0A PROGRAM MODE 2021/09/15 *
*****

MAC (00:C0:84:01:A0:00) = 00:C0:84:01:A0:01

PASS (8-63) = DL-PASS-DLWF-E
SSID (8-63) = DL-SSID-DLWF-E
AP or STATION (A/S) = A
CHANNEL ID (1) = 1

LOCAL IP (192.168.000.200) = 192.168.000.220
REMOTE IP (192.168.000.100) = 192.168.000.221
GATE WAY (192.168.000.100) = 192.168.000.220
NET MASK (255.255.255.000) = 255.255.255.000

X (LOCAL PORT #(5) ) = 04098
Y (REMOTE PORT #(5) ) = 04097
BAUD RATE etc ( EX. =115200, 8, PN, 1) = 115200, 8, PN, 1

UDP or TCP PROTOCOL (U/T) = T
TCP SERVER (E/D) = D
DHCP (E/D) = D
KEEP CONNECT (E/D) = E
FIRM DOWN LOAD (E/D) = D

W (WRITE PARAMETERS to EEPROM )
ZA (AP : SET DEFAULT & WRITE PARAMETERS to EEPROM
ZS (STATION : SET DEFAULT & WRITE PARAMETERS to EEPROM
ESC (SEND SSID,PASS to WIFI CHIP then ESCAPE from PROGRAM MODE)
```

説明1 APが設定される。

説明2 Z S命令で指定した機器と対で動作可能な値に設定される。

説明3 APに設定されているので、TCP SERVER (E/D) =Dになる。

保証規定

- 1 保証規定当社製品は、当社規定の社内評価を経て出荷されておりますが、保証期間内に万一故障した場合、無償にて修理させていただきます。お買い求めいただいた製品は、受領後直ちに梱包を開け、検収をお願い致します。

この製品の保証期間は、当社発送日より1カ年です。保証期間は、製品貼付のシリアルナンバーで管理しています。

保証書はございません。

本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の障害について、当社はその責任を負わないものします。

次のような場合には、保証期間内でも有償修理になります。

- (1) お買い上げ後の輸送、移動時の落下、衝撃等で生じた故障および損傷。
- (2) ご使用上の誤り、あるいは改造、修理による故障および損傷。
- (3) 火災、地震、落雷等の災害、あるいは異常電圧などの外部要因に起因する故障および損傷。
- (4) 当社製品に接続する当社以外の機器に起因する故障および損傷。

- 2 次のような場合、有償でも修理出来ない時があります。PCB基板全損、IC全損等、故障状態により修理価格が新品価格を上回る場合。
- 3 製品故障の場合、出張修理は致しておりません。当社あるいは販売店への持ち込み修理となります。上記保証内容は、日本国内においてのみ有効です。
- 4 ユーザサポートのご案内

ユーザサポートのご案内

DL-WF232P に関するご質問、ご相談は、ユーザサポート課までお問い合わせ下さい。

データリンク株式会社 ユーザサポート課

TEL04-2924-3841(代) FAX04-2924-3791 E-mail: support@data-link.co.jp

受付時間 月曜～金曜(祝祭日は除く)

AM9:00～PM12:00 PM1:00～PM5:00

DL-WF232P 取り扱い説明書 2021年9月 第1版

製造、発売元 データリンク株式会社

〒359-1118 埼玉県所沢市喜多町 10-5

TEL04-2924-3841(代) FAX04-2924-3791